

press releases
プレスリリース

2002年10月8日

マイクロソフトのBizTalk® Server2002とSAPの「R/3」を統合
アプリケーション統合ソフトの最新版
「iOrchestrator for SAP R/3 V2.0」を発表
—クラスタやR/3 V4.0Bにも対応—

コンパックコンピュータ株式会社(以下コンパック、本社:東京都品川区、社長:高柳 肇)は、マイクロソフト社の「BizTalk® Server2002」と各種アプリケーションを統合するソリューション「Compaq iOrchestrator(アイ・オーケストレーター)」のSAP社「R/3」対応版を機能強化し、本日から「Compaq iOrchestrator for SAP R/3 V2.0」として発売します。

コンパックはコンサルティング、システム・プランニング、システム構築を含むエンタープライズ・インテグレーション・ソリューションの一環として、導入コンサルティングと共に「iOrchestrator for SAP R/3 V2.0」を提供します。ソフトウェア単体の価格は487万5千円からです。

本製品の発売にあわせ、コンパックはマイクロソフト社と共同で「BizTalk® Server2002」と「Compaq iOrchestrator for SAP R/3 V2.0」の組み合わせによるハードウェアサイジングデータの取得および障害復旧手順の確立を目的とした共同検証作業を行います。

マイクロソフト社のBizTalk Server 2002は、企業内の各種アプリケーションを統合するEAI(Enterprise Application Integration)と、インターネットやXML、EDIをベースとした企業間連携を実現するインテグレーション・サーバ製品です。個別に開発の必要のある各種アプリケーションとの連携のため、BizTalk Serverと各種のアプリケーションとのインタフェースをあらかじめ備えたメッセージング・ツールとして、コンパックが独自にiOrchestratorを開発しました。

コンパックは2001年9月に、SAP社のR/3をはじめ、オラクル社の「Oracle Application」など6種類のアプリケーションを統合するソリューションとしてiOrchestratorを発売しましたが^(注)、このほどERP市場で高いシェアを持つR/3対応製品を機能強化したものです。

企業の合併・統合などによって、今後国内においてもEAIへのニーズが高まると予想されますが、コンパックは今回のCompaq iOrchestrator for SAP R/3 V2.0を流通業および製造業を中心に提供していく予定です。

Compaq iOrchestrator for SAP R/3 V2.0は、マイクロソフト社のBizTalk Server2002とSAP社のR/3の間で、双方向の統合機能を提供するソリューションです。具体的には、R/3トランザクションの実行、R/3 BAPIの呼び出し、R/3 RFCの呼び出し、R/3データベースへのアクセス、ALE Idocの送受信、R/3からBizTalkワークフローの呼び出しを実現します。

<Compaq iOrchestrator for SAP R/3 V2.0の機能と特長>

今回の機能強化では、クラスタへの対応やR/3の対応バージョンの拡大など、以下のような新機能を追加しました。

- 1) クラスタに対応
新たにMicrosoft Cluster Server(MSCS)に対応することで、冗長性の高いアプリケーション統合システムを構築することができます。
- 2) SAP R/3 V4.0Bにも対応
従来から対応しているSAP R/3 V3.1H、同V4.5B、同4.6Cに加え、新たにV4.0Bをサポートしました。
- 3) コンフィギュレーション・ウィザード機能を拡充
iOrchestratorの接続に関して新たにウィザード機能を追加、設定作業をより容易にしました。
- 4) BizTalk Messagingの追加
従来からのBizTalk オーケストレーションアダプタに加え、新たにBizTalkメッセージングアダプタを追加しました。これによって、BizTalk Serverから2種類の方法でiOrchestratorを呼び出すことができます。
- 5) ログ設定ツールを拡充
ログを収集する際のメッセージのレベルおよびファイル名などを設定できるログ設定ツールを新たに用意しました。
- 6) 設定移行ツールの提供
従来のバージョンで作成した設定の移行ツールを用意しました。

<iOrchestratorの基本的な機能と特長>

iOrchestratorはコンパックとマイクロソフト社との提携プログラム「Integration 2000」に基づき、BizTalk Serverと各種アプリケーションを統合するソリューションとしてコンパックが独自開発し2001年に発表した製品

で、以下のような特長を持ちます。

1) EAIシステムの開発期間を短縮

BizTalk Serverと各種アプリケーションを接続するWrapperを製品として提供するため、アプリケーション統合に関してメッセージング部分で特別なプログラム開発をする必要がありません。そのため、本来のアプリケーション統合に開発資源を投入でき、開発期間の短縮を実現します。

2) 開発コストを低減

EAIをオープンシステムとして構築できるため、他のソリューションに比べて安価に導入できます。また、アプリケーション統合を、iOrchestratorの設定とBizTalk Serverでのオーケストレーションにより実現できるため、EAIシステム開発期間の短縮とともに、開発コストを低減できます。

3) 総合的なソリューション体系

複数のアプリケーションに対応しているため、単一のアーキテクチャおよび管理方法、そして設定方法で複数のアプリケーションをBizTalk Serverと統合できます。

注) プレスリリース: <http://www.compaq.co.jp/press/press696.html>

<登録商標>

・社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

一般からのお問い合わせ先
コンパックコンピュータ株式会社
システム統括本部 .NETビジネス推進本部
TEL:03-5769-9449
ホームページ: <http://www.compaq.co.jp/>